

野球を通じた国際交流 前橋・台南 青少年交流会を開催



小川晶前橋市長から選手たちへエールが送られた



スペシャルゲストとして登場した元西武監督の渡辺久信さん



OOHATA 千本桜野球場を会場に、前橋市と台湾・台南市の親睦を深める前橋・台南青少年交流会（前橋・台南青少年交流会実行委員会主催）が開かれ、8月2日（土）・3日（日）には硬式野球交流戦が行われた。台南市立民徳国民中学、前橋桜ボーイズ、前橋リトルシニア、市立前橋高校女子硬式野球部の選手111人が参加。台南市のチームを中心に、順位

を決めない交流戦を実施した。前橋桜ボーイズの瑞慶山桜大主将は、「貴重な場に参加できてうれしいです。順位はつきませんが、チームスローガンである『すべては声から』を守り、自分たちの野球をしっかりと行いたいと思います。また、野球だけではなく、食事などでも台湾の選手と交流を図りたい。今日の経験を活かして、さらにレベルアップしていきたいで

す」と笑顔を見せた。当日は、昼食に流しそうめん、夜はバーベキューやキャンプファイヤーなど、前橋と台南の選手が野球以外で交流できる場も用意された。

また、2日に行われた歓迎セレモニーでは、前橋市の小川晶市長からは「両市の若者たちが、スポーツを通じて友情を育み、文化を分かち合う、貴重な機会を迎えられたことを嬉しく

思っています。この交流大会を通じて、互いを深く理解し、プレーも交流も存分に楽しんでいただきたい。心に残る素晴らしい思い出をたくさん作ってください」と、選手たちにエールを送った。さらに、スペシャルゲストで登場した元西武監督の渡辺久信さんも、自身の経験を基に交流を図ることの大切さを伝え、「この機会に携われてうれしく思う」と話した。